

令和6年度 学校経営方針

泉佐野市立佐野中学校

校 訓 : 「自主」「協力」「健康」「希望」

学校教育目標：

「認め、気づき、変わる。」



めざす生徒像：

- 自ら考え、判断し、主体的に行動する生徒。(自主)
- お互いを尊重し、認め合い、力を合わせて行動する生徒。(協力)
- 自らのことをありのまま受容し、健やかな心身の成長を目指して学習に励む生徒。(健康)
- 将来に展望を持ち、自ら切り開き、夢の実現に向け行動する生徒。(希望)



令和6年度重点目標：

- 多様性を包み込む、温かい学びの場を構築する。

非難や文句には、
非難や文句が返ってくる。



応援や励ましには、
応援や励ましが返ってくる。

「強い使命感と鋭い感性を備えた教員」×「教員のつながり」＝「強く柔らかな学校」
(基礎・基本を継承し、時代の変化に即応する) → 「優しく、たくましい生徒の育成」

令和6年度取組みの重点：

1. お互いにつながり合う集団の育成

- (1) 佐野中学校の一員として、帰属意識を醸成する。
- (2) 支援教育の視点を踏まえて、相互理解の専門性を高める。
- (3) 交流活動や共同学習を工夫し、安心できる居場所を創設する。

2. 学習指導の充実

- (1) 1時間の授業単位ごとに「めあて」を明確にし、学びの発生を実現する。
- (2) すべての教科で、言語能力及び情報活用能力を養成する。
- (3) 1人1台端末やICTを活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を図る。

3. 人権教育の推進

- (1) 豊かな感受性を持ち、人権問題解決のために積極的に行動できる力を練磨する。
- (2) 自己表現力や対話力を高め、対等な立場で他者との関係をつくる。
- (3) 個性や能力を生かし、集団活動の中で人間的成長を指向する。

4. 生徒指導の充実

- (1) 生徒1人ひとりの良さを伸ばす支援を、粘り強く続ける。
- (2) 魅力ある学校づくりと授業改善を、組織的に継続する。
- (3) 「佐野中校区スタンダード」の周知と浸透を促進する。

5. 支援教育の推進

- (1) 「ともに学び、ともに育つ」授業づくりと集団づくりを発展させる。
- (2) 関係者との合意形成を図り、合理的配慮について適切に対応する。
- (3) インクルーシブ教育システム構築のための、専門性と資質の向上を希求する。

6. 道徳教育の充実

- (1) 体験的な学習を重視し、課題を主体的に解決する資質・能力を養う。
- (2) 道徳的価値を自分事とし、「考え、議論する道徳」の実現を追求する。
- (3) 多様な価値観に向き合い、よりよく生きるための基盤を養成する。

7. 健康安全教育の推進

- (1) 自ら健康を保持・増進できる、科学的な実践力を身に付ける。
- (2) 学校全体で体育活動の活性化を図り、運動習慣の確立に努める。
- (3) 給食の時間を中心に、学校教育活動全体として食育に取り組む。

8. 進路指導の充実

- (1) 的確に情報を提供し、生徒が主体的に進路選択できる支援を行う。
- (2) 持続可能な社会の創り手になれるような、キャリア教育を増進する。
- (3) 中学校夜間学級との連携を発展させる。

9. 環境整備の推進

- (1) 施設及び設備の点検を常に行い、必要に応じて改善措置を講ずる。
- (2) 防犯教室や避難訓練、救急処置の研修等、危険発生時の対処を体得する。
- (3) ICT機器を効果的に配置する。